

京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～

京都府教育委員会

児童生徒一人一人の学力がどれだけ伸びたかを明確にし、
次の学びへとつないでいくための調査を実施します。

京都府教育委員会が作成した「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」を実施します。
本調査は、学力の伸びを測るための調査です。京都府内の小学校第4学年から中学校第3学年まで継続して受検し、学校が、6年間にわたり、子どもたちの学力・学習状況を把握し、授業をよりよいものにしていけることが目的です。このため、小学校から中学校に進学した際も含め、子どもたちの各学年での調査結果を引き継いでいきます。

さらに、子どもたちが自分の学習内容の定着状況を確認することに加え、本年度と次年度の調査結果を比べることにより「どれだけ自分の学力が伸びたのか」を実感することで、自信を深め、さらに自分の力を伸ばし、自分のよさを活かそうとしていけるのではないかと考えています。

本調査により、子どもたちが自分の成長を実感し、これまでの学習を振り返り、次の学習に向けたさらなる意欲の向上につながることを期待しています。

調査内容は、以下のとおりです。

教科に関する調査

学習の積み重ねを1人1台端末を用いて調査します

学習内容の定着を確認すると同時に、前年度の調査結果と比べることによって、1年間の学習の積み重ねを「学力の伸び」として見えるようにします。

※子どもたち一人一人に、学力調査のための5桁の数字の「解答者番号」をつくります。小学校第4学年から中学校第3学年まで同じ番号を使うことで、6年間の結果を比べられるようにします。

※「学力の伸び」は令和6年度から見られます。

また、小学校第6学年から中学校第1学年の「学力の伸び」も見られます。

※令和4年度「次世代型学力・学習状況調査」研究校は、本年度から学力の伸びが見られます。

質問調査

「よりよく学ぼうとする力」や「学習への取り組み方」、 「生活状況」等を調査します

学びに向かう姿勢や日々の学習状況、生活状況も子どもたちの成長にとって大切なものと考え、質問調査を実施します。

調査の内容は…？

①教科等

対象学年		小4	小5	小6	中1	中2	中3
教科	国語	●	●	●	●	●	●
	算数・数学	●	●	●	●	●	●
	英語					●	●
質問調査		●	●	●	●	●	●

出題範囲

調査を受ける前の学年までに学習した内容（例：小4の問題は、小3までに学習した内容です。）

②調査スケジュール

調査実施日

第1学年 令和5年5月18日（木）

第2学年 令和5年5月17日（水）

第3学年 令和5年5月16日（火）

※各学校、各教育委員会及び京都府教育委員会においては、調査結果についてより一層多面的な分析が行われるよう、調査結果を活用した取組を進めます。京都府教育委員会では、調査結果を大学等の研究者に貸与し、施策の推進のために分析を依頼する場合があります（なお、個人が特定されるような調査結果を貸与することはありません）。